





-  ●調光機器の分解、改造は絶対にしないでください。故障、感電、火災の原因となります。
-  ●紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 調光機器の隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 調光機器には指定電力(W)を超えるLEDモジュール(LED照明器具)は接続しないでください。故障、火災の原因となります。
-  ●取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電線を接続する場合、ゆるみ、抜けのないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、漏電、地絡、感電、接続部の焼損、火災の原因となります。
- 調光機器は、必ず適合するLEDモジュール(LED照明器具)、直流電源装置と組合わせて使用してください。LEDモジュール(LED照明器具)の破損や、短寿命、あるいは過電流による火災及び調光機器の故障の原因となります。
-  ●アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと感電の原因となります。

注意

- 取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は、法で禁じられています。素人工事をおこないますと、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- 電源電圧は、定格入力電圧の範囲で使用してください。LEDモジュールと直流電源装置(LED照明器具)の短寿命、不点灯、チラツキ、調光機器の故障、火災の原因となることがあります。
- 誤って落下させた調光機器は使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。絶縁低下、漏電、感電、短寿命の原因となることがあります。
- 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、水や薬品がかからないよう注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。
- 電線が調光機器の端子に触れないよう余裕をもたせてください。ケースの端子で絶縁被覆を傷つけ、絶縁破壊により漏電、感電の原因となることがあります。
- 電線の接続点や調光機器の口出線には張力を加えないでください。不点灯、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- 調光機器の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 8~10年経過した調光機器は、絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用しますと絶縁劣化が進行し、異常過熱、焼損、発煙、発火の原因となることがあります。調光機器の交換をおすすめします。
- その他、工事上の制約がありますので、調光機器の取り付けに際しては「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。

ご使用上の注意

- 周囲温度は取扱説明書で指定した範囲で使用してください。不点灯、チラツキ、調光機器の故障の原因となることがあります。
- 接続する電線および出力側総配線長は各製品ページにしたがってください。
- 長時間消灯する際は、スイッチでおこなってください。調光ボリュームでは電源がOFFになりません。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 明るさを下限レベルまで調光させていくと消灯レベルにバラツキが生じたり、明滅やチラツキが生じることがあります。
- 調光信号線は短絡しないでください。故障の原因となることがあります。
- ラジオなどの音響機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは調光機器から1m以上離して使用してください。

良好な調光動作のために

調光設備の設計・施工上の注意






良好な調光動作を得るために以下の点にご留意の上、施工してください。

- 1) 電源は調光専用電源としてください。
動力用と兼用すると電圧変動の影響を受けやすく、また、音響用と兼用すると雑音(ノイズ)の影響を受け、照明負荷のチラツキや音響設備の雑音の原因となることがあります。また、同一電源に大容量の機器があると、高調波や電源歪みが発生し、照明負荷のチラツキの原因となることがあります。音響機器や大容量の機器とは、別電源(別相)にすることを推奨いたします。
- 2) 白熱灯の電源は、別系統からとってください。チラツキの原因となることがあります。
- 3) 電源方式(相)はN相を持った電源を使用してください。
調光可能な電源方式(相)…単相3線式/単相2線式
- 4) 電源ケーブルは銅単線φ2.0mmを使用し、束ねたり、丸めたりしないでください。チラツキの原因となることがあります。
- 5) アースを確実に接続してください。チラツキの原因となることがあります。
- 6) 直流電源装置からLEDモジュールへの配線長さは5m以内とし、束ねたり丸めたりしないでください。チラツキの原因となることがあります。
- 7) 複数台の直流電源装置を使用する場合、すべてのLEDモジュールへの配線長はなるべく同一長さとしてください。明るさ不揃いの原因となることがあります。
- 8) 接続するLEDモジュールの長さ(形式)はなるべく揃えてください。明るさ不揃いや点灯・消灯バラツキの原因となることがあります。
- 9) 推奨調光範囲は3%~100%です。推奨調光範囲以外で使用しますと、次のような現象が発生することがあります。
・チラツキや明るさ不揃い。
・電源をオフ/オンしますと、調光レベルによっては消灯状態や極端に暗い状態になることがあります。調光器のつまみを操作して明るさを再調整してください。
(微弱な点灯をすることがありますが、異常ではありません)

コンセント・コネクタを正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意

警告

-  ●取付工事や清掃、温度ヒューズの交換のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
-  ●必要な作業以外の分解、改造は絶対にしないでください。故障、感電、火災の原因となります。
-  ●コンセント、コネクタの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 傷んだり変形したコンセント、コネクタは使用しないでください。感電、火災の原因となります。
- コンセントの受け刃(充電部)には触れないでください。感電の原因となります。
- 温度ヒューズ交換の際は、電器店、工事店へ依頼し、指定以外のヒューズを使用しないでください。火災の原因となります。
(ヒューズ付コネクタのヒューズ交換はできません)
-  ●取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと感電、火災の原因となります。
- 定格電流以下の負荷で使用してください。感電、火災の原因となります。
-  ●アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと、感電の原因となります。

注意

- 取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は、法で禁じられています。素人工事をおこないますと、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- コネクタは電線に余裕をもたせ、コンセントへ確実に差し込んでください。接続が不完全ですと、感電、火災の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)

で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。

- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- コネクタを抜くときはコードを引っ張っておこなわないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、コンセント、コネクタに水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 強い衝撃を与えないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 塗料などを塗らないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- アース線の接続箇所を間違えないよう注意してください。感電、火災の原因となることがあります。
- 周囲温度は5°C~40°Cの範囲で使用してください。温度ヒューズが不要動作したり、故障、感電、火災の原因となることがあります。





ご使用上の注意

- 什器専用です。什器以外の電源には使用しないでください。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を濡らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 接続する電線は取扱説明書にしたがってください。

電源コード・継線コードを正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意

警告

-  取付工事や清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
-  電源コード、継線コードの分解、改造は絶対にしないでください。故障、感電、火災の原因となります。
-  電源コード、継線コードの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 傷んだり変形した電源コード、継線コードは使用しないでください。感電、火災の原因となります。
-  定格電流以下の負荷で使用してください。感電、火災の原因となります。(渡り配線が2台以上の什器に給電する場合は、特に注意してください)

注意

- 電源コード、継線コードは電線に余裕をもたせ、コンセントへ確実に差し込んでください。接続が不完全ですと、感電、火災の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源コード、継線コードのプラグやコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源コード、継線コードのプラグやコネクタを抜くときはコードを引っ張っておこなわないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、電源コード、継線コードに水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 塗料などを塗らないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- コードの上に重いものを乗せたり、踏んだりしないでください。コードにキズがつかますと故障、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。断線、火災の原因となることがあります。

- 周囲温度は5°C~40°Cの範囲で使用してください。温度ヒューズが不要動作したり、故障、感電、火災の原因となることがあります。






ご使用上の注意

- 什器専用です。什器以外の電源には使用しないでください。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を濡らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 3P 電源コード、3P 継線コードのヒューズ交換はできません。

ラインコンセント・LCプラグを正しく安全にご使用いただくために

安全上の注意

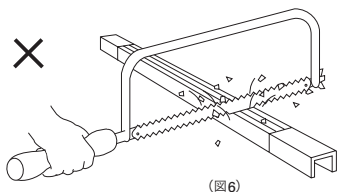
警告

-  取付工事や清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
-  ラインコンセント、LCプラグの分解、改造は絶対にしないでください。故障、感電、火災の原因となります。
-  ラインコンセント、LCプラグの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 傷んだり変形したラインコンセント、LCプラグは使用しないでください。感電、火災の原因となります。
-  取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと感電、火災の原因となります。
- 定格電流以下の負荷で使用してください。感電、火災の原因となります。
-  アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと、感電の原因となります。

注意

- LCプラグは電線に余裕をもたせ、ラインコンセントへ確実に差し込んでください。接続が不完全ですと感電、火災の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 濡れた手でLCプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- LCプラグを抜くときは、プラグを持ちまっすぐ抜いてください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、ラインコンセントやLCプラグに水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 強い衝撃を与えないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 塗料などを塗らないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- ラインコンセントの中央レール、LCプラグの中央の刃及び緑ストライプ電線がアースです。アース線の接続箇所を間違えないよう注意してください。感電、火災の原因となることがあります。
- 取付工事の際、塗料や接着剤の液状成分、金属粉等がラインコンセント内部に入らないよう注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- ラインコンセントはレール面が上向きになるような取り付けはしないでください。塵埃などによる故障、漏電、感電、火災の原因となることがあります。
- LCプラグの上に重いものを乗せたり、踏んだりしないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- LCプラグの中央の刃をラインコンセントの真ん中のレールにあわせてまっすぐしっかりと差し込んでください。感電、火災の原因となることがあります。
- LCプラグはラインコンセント専用、ラインコンセントは店舗用什器などに取り付けて使用する電源取り専用コンセントです。造営材には取り付けて使用できません。故障、感電、火災の原因となることがあります。

- ラインコンセントLCFの本体の長さを調節するときは、切断可能範囲がラインコンセントの先端部に表示してありますので、この範囲内で切断してください。レールの途中で切断しますと故障、感電、火災の原因となることがあります。(図6)
- ラインコンセントLCD、LCMの電源コードのプラグは2極接地極付コンセントへ確実に差し込んでください。感電、火災の原因となることがあります。
- 周囲温度は5°C~40°Cの範囲で使用してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。



(図6)

ご使用上の注意

- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 接続する電線は取扱説明書にしたがってください。
- ラインコンセントから負荷に給電する際は、専用のLCプラグを使用してください。